

<床暖房「エコ暖 Ace」・壁暖房「壁から暖」>

寒い地域にとって、冬場の暖房をどうするべきか。灯油・電気・ガス。何で暖をとるか。そして、どのくらいのコストがかかるか。冬の暖房問題は、寒い地域にとって切っても切れないですね

新築を建てる時も、リフォームを考える時も、工事代・メンテナンス代・メンテナンスの仕方・ランニングコストと悩みはつきもの。

床暖房「エコ暖 Ace」壁暖房「壁から暖」はいかかでしょうか。

温めたい場所に、セラミック製のパネルを入れるだけ。消費電力は同じパネル方式の他社製品と比較したところおよそ 2/3 と経済的。家庭用のコンセントで使用できるのもうれしいところです。ホットカーペットのように、暖房器具の補助として使うのではなく、主暖房として使えるので、暖房器具を置くスペースも必要なく、ストーブの転倒などの心配もありません。メンテナンスも不要です。

施工時間が短いのも特徴です。新築やリフォーム、又現場の状況によっても様々ですが、敷設自体に要する時間は、6 畳間で約 2 時間といったところです。

施工概略



パネルを敷設し、
ビス留めで固定



パネル間を結線する



捨て張り、 小根太を入れる



「エコ暖 Ace」からのほどよい熱が、遠赤外線となり足元からお腹まで感じる暖かさで、私たちの体を温めてくれます。そして、その熱が床からの理想的な対流熱と遠赤外線の輻射熱との相乗効果により、お部屋全体の温度を快適に保つことができます。

床に取り付けができないときは「壁から暖」。腰板に取り付けることで、同じ効果が得られます。

軽井沢・安曇野など寒い地域でも採用されているのも、この製品の暖かさの証明です。そして、飲食店・宿泊施設・老人ホームなどのあらゆる施設のあらゆる場所で使われているのは、多様な使い方ができる証です。

例えば飲食店。カウンターのテーブルの下・カウンターの腰掛に取り付けたり、掘りごたつ式の客席にも使用されています。ミシュランにも掲載されている懐石料理店にも使われているところから、快適さが伝わってきます。

宿泊施設や老人ホームでは、室内を暖めるという基本的な使い方はもちろん、トイレ・脱衣所・風呂の洗い場にも使われています。様々な空間がある施設の中で、各部屋の温度差をなくし、ヒートショックなどの危険を防ぎ利用者に快適な時間を提供しているようです。

その他にも、美容院では夏でも活躍しています。

一日中立ち仕事の美容師さん。夏場は冷房か効いた店内で足は浮腫むようです。そこで、美容師さんの立っている場所だけに「エコ暖 Ace」を設置。足元が冷えないので浮腫みがなくなったとか。遠赤外線ので健康的にお仕事をされているようです。

暖房の検討アイテムの一つに入れてみては？